

おだわら市民交流センターUMECO指摘事項に係る対応状況（令和5年度末）

No	指摘年度	コメント機能	指摘内容	予定している対応 予算措置など	実際に行った対応 今後の方針など	対応年月
1	R4	きっかけ 拠点	UMECO企画展やアクティブサロンの充実 ・UMECO独自の企画実施（地域や事業者における社会貢献活動、多様な主体の協働など） ・効果の検証（団体の参加者、寄附、連携の増加につながるよう）	アンケートにより一般の方の市民活動の意識（参加意向等）の把握・展示方法等の再構築。	年3回の展示（3月の雛まつり、5月の北条5代祭、12月のクリスマス展）をUMECOの主導で実施した。	R5年度
2	R4	— 相談支援	職員の傾聴力の向上（相談者のニーズを引き出し、問題解決に寄り添える人材育成）	スタッフの対応力を高めるため、外部教育への参加。	県の相談業務へ、インターンシップへスタッフ1名が参加した。 相談スキルの高いスタッフを配置した相談日を設定する。	R5.11
3	R4	実現 相談支援	市民活動応援補助金の受付業務における、より適切なアドバイス実施	審査において問題となった事例などをまとめたチェックリストを作成し、受付時の確認やアドバイスを徹底する。	予定どおり実施した。今後も、チェックリストを毎年バージョンアップする。	R5.12 (継続)
4	R4	実現 協働支援	地域・企業とのネットワークの充実（新たな連携先の開拓、パフォーマンス団体以外の連携強化）	令和5年度は、学校との連携をより強化するとともに、令和7年度までパートナーシップミーティングを連続開催し、企業等との連携を模索する。	地域とのネットワークにおいて、学校関係を中心に件数を増加させることができた。 (引き続き、企業等との連携を模索する。)	R5年度 (継続)
5	R4	きっかけ 学習体験	団体の人材不足解消のための、幅広い年代向け（若者、60代など）のボランティア体験機会の提供	体験内容の精査。	従前どおりの「夏休みボランティア体験学習」を継続実施。 体験内容の精査。	R5.7.8 (継続)

No	指摘年度	コメント機能	指摘内容	予定している対応 予算措置など	実際に行った対応 今後の方針など	対応年月
6	R4	実現 学習 体験	団体のニーズに応じた、特に専門性の高い講座の実施	課題を抱えている団体が多い「人材面」、「資金面」に関する講座を、外部講師を招聘して実施する。令和5年度予算で、講師謝礼を計上する。	まずは「資金面」での課題解決に向けて、外部講師を招聘し「市民活動団体向けの助成金活用講座」を実施した。今後も、アンケート結果等をもとに、ニーズに応じた専門的な講座を継続的に実施する。	R5.12 (継続)
7	R4	きっかけ 情報	ホームページの充実（スマホ対応、一般市民への分かりやすさ向上）	ホームページの改修計画を検討、R6年度予算に計上	令和5年度中は、団体向けにホームページ活用講座を開催。引き続き令和6年度のホームページ改修を目指す。	R5.9 (継続)
8	R4	きっかけ 情報	若者、市民活動に無関心な市民、事業者、地域に対する市民活動のPR強化	パートナーシップミーティングや団体交流会により、多様な団体のつながりの場を提供	パートナーシップミーティング in 県西を開催、令和6年度も開催予定。	R6.2 (継続)
9	R4	行動 情報	団体の成長に資する情報の発信（先進事例、協働事例、講座情報など）	情報紙等により講座情報の発信。	補助金活用講座等団体向け講座を開催した。 情報紙等により講座情報の発信の拡大。	R5.12
10	R4	きっかけ 男女	男女共同参画の推進に係る、UMECO主催事業の実施（対面相談、参加型イベントなど）	UMECO単独での展示等の事業実施	男女共同参画週間展でUMECOによる展示の拡充を実施。	R5.6
11	R4	きっかけ 国際	国際交流に係る、取組の拡充（関連団体と連携した事業の実施、外国籍市民の日本語教室への案内強化）	市の関連部署（文化政策課等）との協働の可能性を探り、令和6年度に外国籍の方を中心とした交流の場「みんなの広場」の開催することとなった。	日本語教室（2団体）の連絡先・開催日時等の案内、チラシの配布を実施した。	R5年度 (継続)